

# 講座だより

第10号



【プログラムを実施している様子】

11月12日(土)に養成コースの第9回目が富士市立丸火青少年の家で開催されました。今回は「森のふしぎと焚き火パンづくり」と題し、一般募集をした小学生28名の参加者に対して、これまでグループで考えてきたプログラムを実施しました。晴天にも恵まれ暖かい秋の紅葉の森の中、子どもたちの楽しむ様子が見られました。

午前中は、遂にこれまで企画をしてきたプログラムの実施です。事務局スタッフに引率された子どもたちが、1つずつグループを周り体験をしました。クモの巣に触れる体験や、土壌の中の生きものを探す体験、大地に寝転んで森の音に耳を澄ます体験など、様々なプログラムを通して、子ども達は自然への新しい気づきやふしぎを、五感を使って感じる事ができていました。



【プログラムを実施している様子】



【振り返りの講義の様子】

午後からは、午前中を振り返る時間になりました。まず最初に前回の予行から今回の本番で変更したポイントを発表しました。次に個人で実施を経て気づいたことや、改善点について見つめ直し、グループで共有しました。最後に一人ずつ学びを発表し、それぞれに講師からアドバイスがありました。どの受講者もとても充実した表情で、達成感を感じる1日になった様子でした。

## 〈発行元〉

静岡県くらし・環境部環境局環境ふれあい課 自然ふれあい班  
電話:054-221-2848 Eメール:fureai@pref.shizuoka.lg.jp